

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」名古屋校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員又は保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		カーテン等でスペースを仕切り、個室で集中できるようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			日次・週次で職員参加のミーティングを実施しています。目標設定を行い、各自担当を持って実施しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			当社 HP にて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在は利用者・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討いたします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			初任者研修を行なうとともに、月に1回、外部講師による勉強会を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			お子さまの事例を共有し、議論するケース検討会を開催し、活動プログラムの立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			お子さま一人ひとりの特性や気持ち、興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追究しています。やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境を作っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>		アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を日次で実施し、職員間での情報共有を行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティングを随時実施し、職員間での情報共有を行っています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回指導記録をとり、見直すことでお子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適切な時期にモニタリング、会議を行い、見直しの必要性を判断しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子さまの状態を把握し、チームでの支援を展開しています。会議には児童発達支援管理責任者と担当するスタッフ1名程度で参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要に応じて、学校の先生やスクールカウンセラーのご要望にお応えする形で、支援方法に関するご提案を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子さまの受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援事業所を通して情報共有をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	必要に応じて、連絡票等を用いて直接情報提供できる体制を整えていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			外部専門家による研修や教材・プログラムの監修を行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	地域交流については、限られた指導時間の中での交流が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施はしていません。個々のお子さまの状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付けた上で実施いたします。

	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会・児童グループ・全体会等、積極的に参加しています。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		必要に応じて支援後のフィードバック時に、家庭での対応方法についてアドバイスしています。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	開校日等の都合上、保護者会等は開催していませんが、ご要望に応じて検討していきます。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、お問い合わせ窓口を設置しています。いただいた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	教室外、廊下等に活動内容やイベントのご案内を掲示しています。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さま、保護者様の状態に応じて、意思疎通や情報の伝達ができるように配慮しています。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報等に配慮しつつ、指導の様子を公開したり、教室開放の時間を設けることも検討していきます。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回の防災訓練を実施しています。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のマニュアルを作成し、研修を実施しています。
	㉞	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載した上で説明、了承をいただきます。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		対象のお子さまについては、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意していきます。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起こった際には、報告書を作成・保管し、情報共有と対策を行っています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」名古屋校 保護者等数（児童数）41 回収数 36 割合 88 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	1		・十分なスペースがあると思う。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	8		・人手不足だと思つ場面があります。 ・職員の入れ替わりもあり、専門性に欠けると思つ場面もある。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	15	3	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	29	5	1	・分析されているか分かりづらいつ部分があるので、分かる形で提示して欲しい。 ・支援員と保護者の綿密なコミュニケーションの上、適切な期間設定がされた明確な計画を提示して欲しい。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	29	5	1	・固定化の傾向が見られる。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	10	18	
保護	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	3		

者 へ の 説 明 等	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	4	1	・保護者からの申し出からだけでなく、指導員からも積極的にコミュニケーションをとって欲しい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	13	3	・希望者には随時面談をできる機会があるといいです。 ・面談の機会を増やしてほしい。 ・保護者の面談依頼によく対応していただいている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	12	20	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	14		・反応は若干遅いものの、対応の意志を示してくださっている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	6		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	18	8	・今後に期待します。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	29	7		
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	27	7	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	7	2	
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	32	4		・小集団を楽しみにしていたので早く再開して欲しいです。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	30	5	1	・もっと通えると良いです。 ・概ね満足しているが、求めたい部分もあります。 ・指導状況に改善傾向が見られ、これに呼応して子どもの成長も実感できるようになってきた。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。